

2016/08/20 俳句甲子園 活動費を支援

2016年8月19日(金)、第19回俳句甲子園 全国大会出場のために、海城高等学校3年文芸部俳句班6名は、念願の愛媛県松山入りを果たしました。

予選リーグはJグループ。山口県立徳山高校Bと愛媛県立松山中央高校との対戦。



対戦校である地元松山中央高校とエールの交換です。

8月20日(土)、俳句甲子園、ついに開幕です。

開会式の後、早速予選リーグがスタート。12ブロックに分かれ、各3チーム総当たりで行われました。松山の繁華街である大街道に設置された特別会場での開催です。アーケード街とは言え、屋外での試合になるため、暑さ対策は必須のこと。過去には熱中症になる生徒もいたというぐらいハードな環境での試合となります。



会場である大街道。全長 483m のアーケード街です。

緒戦の相手は、山口県立徳山高校 B。「短夜」という兼題での対戦になりました。出だしに多少の硬さはみられたものの、徐々にいつものペースを取り戻した 5 人でしたが、徳山高校 B の句のクオリティの高さの前に、0 対 3 で敗戦。大事な初戦を落としてしまいました。



試合前の挨拶です。

2回戦の相手は、地元松山中央高校。過去に優勝経験もある強豪校です。「浴衣」という兼題での対戦になりました。徳山高校 B 戦に続く連戦ということもあり、全国大会の雰囲気慣れたのか、いつもの「らしさ」を十二分に発揮する試合運びとなりました。予選リーグを勝ち抜くには、この試合を3対0で勝利しなければならないという厳しい状況の中、先鋒、次鋒戦を共に4対1で取り、この試合の勝利をまずは手中に収め、最後の大将戦に望みをつなぎました。大将戦は接戦となりましたが、惜しくも2対3で落としてしまいました。



ディベート中です。鋭く切り込みます。

持てる力を最大限発揮しての戦いであったため、結果に悔いはありません。

今大会の優秀句が発表されました。個人の部入選 20 句の中に本校生徒の

『浴衣ごと身を乗り出せる射的かな』

が見事選ばれました。